



新年の決意 (順不同です。複数人のとき、お名前と文を写真左に写っているかたから紹介しています)。



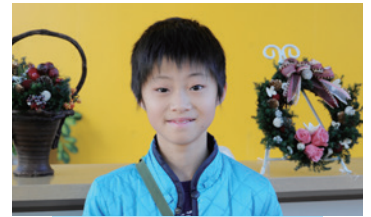
赤川弘之さん (グランアクシブ)
▶ 家族全員健康でしっかり生きていきたい。理事会の防災担当として街全体の視点で防災を考えていきたい。



山崎美優花さん、川楠七海さん (打瀬小) ▶ 何事もなく健康な 1 年にしたい (山崎さん)。中学生として新しいことにチャレンジしたい (川楠さん)。



小谷崎均さん (11 番街在住)
▶ 60 歳になるので、第二の人生に入るつもりで、ベイタウンに貢献したい。



佐藤睦君 (打瀬小) ▶ 小学校最後の 1 年を楽しみたい。漢字テストで 100 点を目指す。



芦田海音君 (美浜打瀬小) ▶ 年明け早々にピアノのコンクールがあるのでがんばりたい。6 年生なのでもっと学力を上げたい。



三原風花さん、山岸亜矢さん、後藤涼帆さん、三浦このさん (美浜打瀬小) ▶ 皆勤賞取りたい (三原さん)。楽しい 1 年にしたい (山岸さん)。きらいな算数を頑張りたい (後藤さん)。この 1 年を思いっきり楽しみたい (三浦さん)。



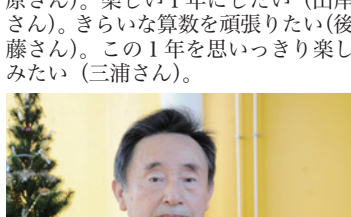
大岩昭夫さん (9 番街在住 84 歳)
▶ お散歩をしっかりして、リハビリに頑張りたい。ベイタウンのサークルにも何か加わって楽しいことをしていきたい。



小山昊大君、安達玲音君、内山裕貴君 (美浜打瀬小) ▶ 低学年をまとめることをしっかりやりたい (内山君)。中学受験受かって、中学入ったら化学の実験やりたい (小山君)。リーダーとして、ふれ合い活動などでしっかり低学年をまとめたい (安達君)。



川崎遼斗君、林丈君 (美浜打瀬小)
▶ 最高学年なので、低学年をまとめられるようになりたい (川崎君)。小学校生活最後なので、全力で一日一日を楽しもう (林君)。



石濱宗治さん (72 歳) ▶ 健康で家族みんなと幸せに 1 年を過ごしたい。



里見優さん、遙花さん (親子ファーストウィング) ▶ ダイエット! (優さん) 中学受験頑張っ、中学入ったらバトン部で頑張る (遙花さん)。



石澤直幸君 (美浜打瀬小) ▶ 6 年生として学校生活すべてをがんばる。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬中学校デイリーノートより

No.8



打瀬中学校編

ペイタウンニュース 230 号でも紹介した打瀬中学校の生徒が毎日綴っているデイリーノート（生活記録ノート）から生徒の声を紹介します。今回は、11 月に行われた 1 年生「EX 講座」と 2 年生「職場体験」の様子をお伝えします。EX 講座は、エキサイティング講座といって 11 のテーマ別に別れ、それぞれ地域の専門家の方々から学ぶというものです。職場体験は市内のさまざまな業種の職場で 2 日間体験をさせていただいたものです。【打瀬中：石井】

EX 講座編

- ・花見川の水質やにおいを調べました。意外と汚れていなかったのよかったです（水質調査班）
- ・EX 講座 1 日目は手話をやった。耳が聞こえなくて困ることはたくさんあるけど、それは「神様からの試練だ」と前向きに言っていてかっこよかった。自分の名前を手話で伝えたり、手話で歌ったりして楽しかった。（福祉班）
- ・車いすに乗ってはがきを買うという体験を EX 講座でやりました。また、坂で車いすを押す役だったので大変でした。自分で車いすをこぐとなかなか進まず、すぐに疲れてしまいました。（福祉班）
- ・世界一貧しいマラウイは、日本よりお金はないけれど自給自足だから食べ物に困らないことが意外だった。（国際理解班）
- ・すいとんを作った！すいとん＝水団と書くらしい。昔の人はだしとか入れずに野菜の味をそのまま飲んだらしい…！飲んでみたけれどおいしくなかった。（戦時中の生活調査班）

職場体験編

- ・とても楽しかった！幼稚園の先生は朝早くから出勤し、掃除などをしていて、大変だということがわかった。しかし、その苦労も園児たちのにこにこ笑顔な姿をみるとふっとんで嬉しくなった。（幼稚園）
- ・終わってほっとするかなって思っていたが、けっこうさみしいです。別れのときに「大好きだよ」とか「お勉強頑張ってね」と言われるとうれしくて！！いい経験になりました。（幼稚園）
- ・職場体験 5 日間ぐらいいやりました。ちょっと寂しかった。幼稚園で作品展があって、来週の土曜日に行きたいけれど行



打瀬公民館での受け付け体験

- けないので残念。（幼稚園）
- ・今日で最後——ンンンさみしい…今朝行ったら入口のところで待っててめちゃかわいかったです。皆お持ち帰りしたい…子ども達にいやされたのでテスト勉強頑張れます。（幼稚園）
- ・美術館での仕事を教えてもらいました！ただ美術品を説明するぐらいしか知らなかったの、企画を考えたり、作品の調査・研究をしたりすることを知って驚きました！（美術館）
- ・今日は 2 日目で最初から受付の仕事を任されました。また、野球場の整備やテニスコートの掃除などをしました。休み時間には、施設の方々と一緒にサッカーをしたのがとても楽しかったです。（スポーツ施設）
- ・青果は鮮度が勝負なので結構急いで袋詰めや品出しをしないといけなかったのが大変でした。（スーパー）
- ・背中と腕が痛くなりましたが、幸せで楽しい 2 日間でした！赤ちゃんだらけでうれしかったです！来年も職場体験があってほしいですが…ないですよ～残念です。赤ちゃん大好き♡（保育園）



消防署でハシゴ車に

第 1 回アトリウム・コンサート

12 月 10 日、午後 2 時よりコアで第 1 回「アトリウム・コンサート」が開かれました。コアと言えば音楽ホールと Fazioli ピアノが魅力ですが、今回のアトリウムではそのどちらも使わず、普段は受験生が勉強するアトリウムでのミニ・コンサートです。

専用の音楽ホールではなく、アトリウムでコンサートでの音楽会を企画したのは公民館の村山館長。もっとコアに親しんでもらおうと敢えてホールではなく、外からも目立つアトリウムでのコンサートにしました。



当日は、「ペイタウン室内弦楽合奏団」と「コア・チェンバーシンガーズ」が出演し、ペイタウンで初の弦楽伴奏による「アヴェ・ヴェルム・コルプス」が披露され、臨時に設営されたアトリウムの椅子席を埋めた聴衆のみなさんの拍手を誘いました。

館長によるとアトリウム・コンサートは今後も続けていきたいとのこと。

打瀬小グラウンドで「セアカゴケグモ」

12 月 8 日午後 3 時頃、地域住民の方から打瀬小学校に、グラウンドの鉄棒の逆上がり練習器付近にセアカゴケグモらしき虫がいるとの通報がありました。

すぐに打瀬小職員が捕獲し、関係機関に引き渡したところ、セアカゴケグモでほぼ間違いなしとの連絡を同日午後 5 時 30 分頃受けました。

すぐに関係機関に連絡し、駆除は終わっているようですが気を付けてくださいとのこと。

ケンペス選手はペイタウンに住んでいた

本号でも紹介しているマラソン大会では JEF ユナイテッドのサイン入りユニフォームを着て、「今日はケンペス選手追悼の意味も含め走りました」と語る親子がいました。お話を聞くと、昨年 11 月 29 日のコロンビアでの飛行機墜落事故で死亡した元 JEF の E. ケンペス選手は在籍時このペイタウンに住んでいたそうです。

家族でペイタウンに住み、公園でサンダル履きで子どもたちとサッカーを楽しんでいる姿がよく見られたとのこと。

あらためてご冥福をお祈りします。



「幕張ベイタウンマラソン大会」

昨年12月4日(日)、今年で3回目となる「幕張ベイタウンマラソン大会」が幕張海浜公園Dブロックを会場に開催されました。このマラソン大会、参加者はベイタウン在住・在勤者、運営はベイタウンの学校・地域団体が連携し、学生達もボランティアとして携わっていると聞き、取材してきました。【斎田】



会場に行ってみると、受付には子どもがお世話になっている放課後子どもルームの先生が、本部テントには知り合いの幕張ベイタウン女子部の方々、開会式では学校の校長先生がお話され、地域で関わる様々な方の顔ぶれ。鎌田さん率いる夏のラジオ体操リーダー達もいるぞと思ったら、開会式で準備運動のラジオ体操をリード。はたまたマラソンコースの横では、学生ダンスチームがパフォーマンスを披露、と関わっている団体の多さに驚きます。大会実行委員長の内田さん(打瀬地区スポーツ振興会会長)に話をうかがうと、この大会は5社の協賛企業と、ベイタウン内小中学校だけでなく、幕張総合高校など近隣の学校や団体より総勢80名弱の大会運営スタッフ、アトラクション部門として2つのダンスチーム(約100名)が関わり成り立っているとのこと。そしてこのマラソン大会は、「ベイタウン子ども円卓会議」にてベイタウンの子どもたちにより発案され実現

したそうで、その経緯にも感心しました。

受付の女子中学生に声をかけると、打瀬中陸上部短距離種目のメンバーとのこと。マラソン大会で選手として走るのは長距離種目の部員のみ、それ以外の部員は運営ボランティアに携わるのが恒例だそう。また、打瀬中の他の運動部もランナーとして参加すると教えてもらい、様子を見に待機場所へ。各部のユニフォームを着た中学生が沢山います。部活でほぼ強制参加のパドミントン部。「いやあ〜、マラソンはきついですが、地域の行事は積極的に参加しないと〜!」「な!」と照れながら語ってくれたのは2年の村井君、住田君。顧問の先生の声援を受けながら走りました。打瀬中からは陸上・バドミントン・剣道・卓球・野球・硬式テニスの計6部が選手として、5.3キロの中学・一般・シニアの部に参加。この部門を制したのは、大人達をおさえ男女ともに中学生でした。男子1位の打瀬中陸上部2年油谷君は「中学の長距離種

目は2キロか3キロ。だから5キロはキツかったけどとにかく走った」ペース配分なども考えず走り切ったとか。恐るべし中学生のスタミナですね。マラソン後、円になって真っ赤な顔で休んでいる野球部メンバーを見つけました。「おまえ、おかしいぞ! あんなに速くて!いつもの練習の30分間走、サボってるのバレバレだからな。これからサボれないからな〜!」「すげーきつかったっす!」。チームスポーツらしい部の雰囲気を感じられ微笑ましいひとコマでした。

5.3キロのコースの他に、2キロの小学1〜3年(個人/親子)、3キロの小学4〜6年(個人/親子)の部が行われ、総勢452名の選手が汗を流しました。小学1〜3年親子の部が一般の部に次いでエントリーが多く、友人親子も沢山参加していました。この日に向け親子で目標を持ち練習してきた人、親子のコミュニケーションのために走った人、それぞれのペースで楽しんでいました。去年は母子で出場したけど、もう母は追いつけないから子どもだけで参加、という人も(わかります、納得です)。これを機に私もランナーに…!、と一瞬奮起しましたが、きっと来年も応援側…。マリンフィールドや海浜幕張のホテル群を背景に大人から子どもまで走る姿は、なんともこの地域らしく、応援しているこちらにも楽しくなる、そんなマラソン大会でした。



(写真左上)女子5.3キロのスタート(写真上)小学校1〜3年個人のレース。

恒例「ベイタウン街歩きウォッチング」開催

今年の「ベイタウン街歩きウォッチング」は、ベイタウンの3小学校などを見学したり、施設のDVDを鑑賞したりします。多くの皆様の参加をお待ちしています。

日時：平成29年1月28日(土)10:00〜12:00 ※雨天実施

集合場所：打瀬小アリーナ (9:45受付開始)

申込先：児童、生徒、保護者は各学校へ

地域の方は「コア」に設置したポストへ

【問い合わせ先】ベイタウン子ども円卓会議

(043-211-0321 打瀬小学校 中井康司)

1月28日(土) 寺子屋工作ランド

Myはしをつくろう(じぶんだけのおはしを竹でつくります)

日時：1月28日 第4土曜日 午前9:30〜11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの：小刀(あれば)古タオル1枚(ひざあて)ごみぶくろ、てぶくろ

参加費：50円(保険料)

1月のコア・イベント

わくわくおはなし会 1月のおはなし会

日時：1月21日 第3土曜日

時間：午前10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どもも来てね。

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第156回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

日時：1月22日(日) 午前9:00〜11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：12月15日(日) 申込先：TEL/FAX：276-1428 (下口)

ベイトOWNニュースに記事を書こう

打瀬中 EX 講座より

今年も打瀬中で 11 月 18 日、19 日の 2 日間 EX 講座が行われ、ベイトOWNニュースも講師役として参加しました。

今回はベイトOWNニュースに記事を書いてみたいという 1 年生たちに、「今の小学校 5、6 年生たちに伝えたい打瀬中学校のこと」というテーマで記事を書いてもらいました。少し具体的に読者をイメージして、具体的な文章を書く練習をしてもらいたかったのと、後輩達に打瀬中のことを話すことで彼らの中学生活の本音が聞けるかと思ったからです。

講座に応募してきた 21 人全員に後輩に向けたメッセージを書いてもらいましたが、どれもすばらしい文章で、今の中学生達の文章力に驚かされました。今回は紙面の関係で生徒達が自分達で選んだ 6 本の記事を掲載していますが、ニュースの WEB ページでは生徒

大混雑？ 移動の嵐 教科センター方式

小学校では自分の教室があり、自分の教室で毎日授業に取り組んでいますよね？ 今この記事を読んでくれている小学校高学年の方は中学校ではどんな生活が待っているのかワクワクしていることと思います。

僕は打瀬中に入って驚いたことがあります。それは教科センター方式です。教科センター方式とは、教室が固定されておらず、自分達から受ける科目の教室に移動することです。ある曜日の僕のクラスの日程では 3 階から 1 階へ、1 階から 3 階へと移動する日があります。それ以外にも毎日たくさん学校内を移動していて、非常に辛く、リュックも重いので、歩いているだけで汗が出てくるほどです。しかし、このような驚きの毎日も中学校生活の思い出となります。打瀬中学校に入っても、打瀬中学校ではなく、違う中学校でも、その学校生活習慣を身に付けて、毎日を楽しく、自分らしく頑張ってください。 【1-B 山口航之祐】

運動をする文化部！？

私は、科学部で活動しています。打瀬中の科学部では打瀬中の生徒でも知らないような、さまざまな活動を行っています。例えば、生物観察やジオラマを作ったり、科学検定を受けたりします。その 1 つ 1 つは、すべて計画がはっきりとできてやりがいがあります。また他の学校の科学部ではあまり行っていないことがあります。それは科学部なのに「外周」を行っていることです。「外周」とは、学校の周りにある歩道を走ることです。私達は 1 週間に 1 回、1 年生は 2 周、2 年生は 3 周、3 年生は 4 周、外周を走ります。最初は大変で、やりたくありませんでした。でも今は先輩や友達と一緒に走ることができて、すごく楽しいです。

部活動のメンバーで同じことを目指すのは、どの部活動でもありますが、すごく楽しいし団結することができます。科学部で学んだことを将来で活かせるような仕事についてみたいと、私は思っています。 【1-E 山口凜】

充実の学校設備

今年入学の 6 年生のみなさん、打瀬中は今年創立 23 年を迎えますが、設備が良いです。館は 4 つあり、本館、新館、プレハブ棟、特別棟があります。

打瀬中では、教科センター方式で移動が多く、入学棟当初は授業に遅れることもあります。しばらくたつと慣れてくるので、がんばってください。

校内には、いろいろな本がある図書館の他にも、教科ごとに OWS（オープンワークスペース）があります。OWS には教科ごとに辞書や調べ物に役立つ本があります。

グラウンドは 2 つあり、サッカー部やハンドボール部も使う第 1 グラウンドと、野球部やテニス部も使う第 2 グラウンドがあります。

今年の 3 月には、松葉杖や車いすの人のためのエレベーターが完成予定です。

みなさんぜひきてください。 【1-H 茂木雄斗】

21 人全員の記事を読むことができます。

小学生諸君。先輩たちは中学でこんなに頑張っているぞ。【松村】



仲間と楽しむ部活

4 月に初めて仮入部に行ったとき、卓球のボールのスピードや回転にとっても驚きました。私が打ったときは全く違い今までの卓球のイメージがくつがえされ、衝撃でした。先輩方が楽しくラリーをしているのを見て卓球部に入部することを決めました。そして同じく卓球に魅力を感じた 5 人の仲間たちとの部活がはじまりました。

普段の練習でも先輩方がほめてくれてうれしかったです。先輩方や友達とラリーをするのは、本当に楽しいです。初試合は 5 月の練習試合でした。結果は 1-3 で負けましたがギリギリ 11 ゲーム取ることができました。そして 1 年生大会では何回か勝ち進むことができました。

来年度、中学一年生になるみなさんには友達と一緒にだからという理由でなくその部が一番合っていると思った部に入ってもらいたいと思います。選んだ部に友達がいないくても、同じ部に気に入った人ならきっと気の合う仲間がいるはずですよ。 【1-C 千葉葉月】

行ったり来たりの大移動 教科センター方式とは！

みなさんは打瀬中学校に興味はありますか？打瀬中学校には他の中学校にはなかなかない、教科センター方式という方法で授業を受けています。普通の中学校では教室を固定していますが、教科センター方式では各教室の教科が決まっています。生徒はその教室に毎時間移動しています。僕たちは重いリュックサックを背負いながら毎時間行ったり来たりしています。

教科センター方式は悪い事ばかりではありません。その教科ごとの教室なので、その教科のことが詳しくなります。移動は大変ですが、教科センター方式はこういったメリットがあります。

打瀬中学校には制服がありません！ これも他の中学校にはあまりないことです。なぜ制服がないかというと、打瀬中学校は自分で一番良い物を選んでほしいからです。その自分で一番良い物は人それぞれです。これから入学する人達は自分で一番良い物は何か僕たちと一緒に探してみませんか？ 【1-A 林伶音】

部活選びはあせらずに

どんな人でも中学校に入る前は、期待の気持ちと心配の気持ちでいっぱいだと思います。僕も同じでした、この新聞が配られるときの学校での話の内容は、「中学入ったら部活どうする？」がほとんどだと思います。僕は仲の良い友達に「科学部楽しそうだしいっしょに入ろうよ」と言われました。最初は友達に言われるがままにそうしようとしていましたが、心のすみには運動部がいいなという思いがあったので、水泳を習っていたのもあって水泳部に入ることを決めました。夏まではプールに入れないのでトレーニングばかりで大変ですが、夏に活躍するために頑張りました。

今、どの部活に入ろうか本気で悩んでいるのであれば、まだあせる必要はありません。仮入部もあるので、ゆっくり考えて部活を選んでみた方が良いでしょう。また、友達と同じ部活に入るのも良いと思いますが自分の意志を優先すれば良いと思います。僕は今、水泳部に入っていてとても楽しいです。 【1-H 太子颯吾】

みんなで作った団結の音

打瀬中学校には音魂祭という行事があります。音魂祭とは、クラス別にわかれて、合唱で学年ごとに競う学校行事の1つです。この音魂祭で賞をとるために、1番に必要なのは、クラスの団結だと僕は考えます。みんなと声をかけあい、協力しあったことで生まれる団結力。それが大切なのです。僕たちのクラスは学年リハーサルで全然歌えませんでした。みんなは、このことを糧にして、練習しました。みんなリハーサルで悔しい思いをしても、諦めず、練習を繰り返しました。そして当日、僕たちはベストを尽くして歌いきりました。結果は優秀賞。学年で2位という好成績を残しました。

僕は団結には諦めないこと、仲間を信じること、そして協力しあうことが大切なんだと思いました。小学6年生のみなさん、ぜひ入学して、挫折しそうになったら、今回の話を思い出してください。きっと役に立つはずです。

【1-D 稲葉幸隆】

新たな試み

僕は打瀬中に入って良かったことがあります。それは部活動です。打瀬中には17の部活動があり、運動部（外で体を動かす部）が12、文化部（中で作品などを作る）が5つあり、運動部にはサッカーや陸上、水泳などがあります。また文化部には吹奏楽や科学、調理などがあります。特にテニス部には、軟式と硬式があり、自分の選択肢の幅が増えています。

僕は軟式テニス部に入って学んだことが2つあります。1つ目は体力の向上です。外周などが多く多いときでは20周もする部活があるそうです。それにより体力が向上します。2つ目は努力です。僕は部活で試合に出るために、自分で練習などをしていき他の人よりも上手になるために努力をします。僕は中学に入ってこの部活により今までのだらだらとした生活が変わりました。なので打瀬中に入ったら部活に入部してみてください。

【1-F 藤田雄大】

1日の終わりは達成感！！

打瀬中に入るみなさん。部活について、どう考えていますか？なやんでいる人もいるでしょう。そこで部活を楽しく、自分に合ったものを見つけるコツを紹介します。

その1。まず仮入部で気になる部活に行きます。そこで、本当に自分のやりたい物に入りましょう。友達がいるからではだめです。そして、うんとなやんでください。その2。部活は、3年間ずっと一緒です。ですから、くいのないように楽しんでください。その3。打瀬中で部活をぜひやってください。部活をやれば、友達もふえます。そして、ライバルも出てきます。その中で、レギュラーがとれるようにがんばってください。最後に打瀬中には、色々な行事もあります。ですから、楽しみにまわっててください。では、僕らも、みなさんが来ることを楽しみにしています。では、打瀬中で、まわっています。

【1-C 耳田龍ノ介】

汗をたくさん流す部活とは？

今日は打瀬中学校の部活について紹介します。部活にはサッカー部、バスケ部などたくさんの部活があります。小学校には部活はないのですが打瀬中では、自分にあった部活ができます。その中でも今日はアリーナで練習する部活について紹介します。

アリーナで練習する部活には、バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部があります。アリーナは3つの部活では使えないので、前半、中間、後半のに分けて使います。順番がまわってくるまでは、トレーニングルームで筋トレ、外で外周などをします。

部活は夏の間は6時45分まで秋は6時15分まで冬は4時45分までです。このように部活は習いごとではあまりやらない外周など、習いごととはまたちがう練習ができます。今紹介してきた部以外にも美術部や調理部などおちついた部活もあります。打瀬中学校の部活は種類も多くとても楽しい部活です。 【1-A 筒井善士】

クラスで奏でる音の魂

小学校6年生の皆さん。僕は音魂祭について伝えたいと思います。音魂祭は、音の魂ですから、どのクラスも1人1人が本番に向けて様々な工夫をし、それを体をめいいっぱい使って表現します。ただ、どのクラスも簡単にパフォーマンスを成功させているわけではありません。自分の体験だと、本番3日前までは完成しそうにありませんでした。体を動かすタイミングだったり、音の強弱がそろったりしませんでした。しかし、最後の3日でどれだけ本番を意識し、その曲を歌うかで、結果は変わってくると思います。僕たちのクラスは優秀賞。わかりやすく言うと、銀賞でした。

ここで1つアドバイスをします。大切なのは、「団結」です。クラスの仲間を信じ、練習すると、おのずと上手くなるはずです。賞はとれなくても、すがすがしい気分になるとと思います。

打瀬中には、ほかにも楽しい行事がたくさんあります。皆さんの入学を心よりお待ちしております。 【1-D 大木勇希】

嬉しい、楽しい、悲しい、辛い部活動

打瀬中にはたくさん部活動があります。吹奏楽、陸上、調理、卓球、剣道、科学、サッカー、野球、バスケットボール、ボレーボールなどです。その中でも、運動部は15あり、文化部は5つあります。僕は陸上部ですが、その陸上部の練習などの中にいろいろな苦しさや嬉しさがありました。

まず、辛いです。片足で階段をのぼったり、タイヤを押し30mを10回やったりなどをします。でも、努力をすると、結果はついてくるもので、僕の陸上の2年の先輩はそういう練習のおかげで3秒以上も速くなりました。また、僕も入部当初よりもずっとや速くなりました。こういって、結果がのびたりするので、辛くてもたえて、乗り越えることが大切です。僕が陸上部だったので、陸上部のことを書きましたが、他の部活も同じように辛さを乗り越えて、強くなっています。だから、みなさんも部活に入り、辛さを乗り越えて、強くなってください。 【1-A 今井 快】

中学から始まる部活動

みんなも楽しみにしていると思いますが中学校から始まる部活動は、とても楽しく、友達は増え、友達と一緒に過ごす時間が増えますがとても疲れます。運動部は毎日のように体を動かすのでとても筋肉痛になります。また、ほとんど休日がなくなります。でも、そのおかげでとても体力がつき、だんだん疲れなくなってきました。打瀬中学校には、運動部が12種類あり文化部が5種類あります。合計17種類の部活動があります。

僕は、ソフトテニス部に入っていますが入部したばかりの頃は毎日外周を走っていました。そのおかげでち体力が凄くつき、走るのが急に速くなりました。部活動では、総合体育大会というものがあり、先輩（3年生）が同じ市の学校の人たちと戦いそこで勝つと県大会というものに出場することができます。その大会で僕ら1、2年生は3年生の先輩たちを全力で応援します。

【1-F 小西淳平】

クラス全員が団結した音魂祭

みなさんは合唱に興味がありますか？打瀬中では1年に1回「音魂祭」という合唱コンクールがあります。この音魂祭は1年生から3年生までの全クラスが出場し各学年に最優秀賞・優秀賞・優良賞という3つの賞があります。その他にも個人賞として指揮者賞があります。どのクラスも最優秀賞をねらい朝練や昼休みの練習のほか放課後の練習を約40日間練習しました。

歌は、学年合唱とクラスで歌う自由曲の2つの歌を歌います。歌はそれぞれ「あると」「ソプラノ」「男声」と3つのパートに分かれて合唱します。会場は千葉県文化会館というとても広いホールで行います。毎年3年生は、1年生や2年生以上に燃えています。なぜなら3年生の最優秀賞のクラスは市の音楽発表会に出られるからです。この市の音楽発表会にもいろいろな賞があります。今年は「ナイスハーモニー」賞という賞をとりました。本番は練習以上の団結が見れるのでとてもいい合唱祭になります。 【1-H 佐藤 翼】

打瀬中の合唱コンクール

みなさんは合唱に興味がありますか。打瀬中学校には音魂祭（おとだまさい）という全校で行う合唱コンクールがあります。各クラスが朝・昼休み・放課後の時間を使って合唱の練習をします。クラスごとに自分たちが決めた自由曲の練習をソプラノ、アルト、テノール、バスのパートごとに分かれて毎回 20 分の練習をします。また音魂祭には 3 つの賞があります。優良賞、優秀賞、最優秀賞があり、全クラスその最優秀賞を目指して練習に取り組んでいます。3 年生になり最優秀賞に選ばれると千葉市の音楽発表会に出場することができます。

本番は千葉県文化会館で行われます。約 2000 人の前で歌うのはかなり緊張しますが歌っているうちに近著王もほぐれ練習のときよりも声がでるようになります。賞が取れなくてもクラスで団結して歌った歌が一生の思い出になると思います。

【1-H 坂巻智哉】

陸上部、高津先生との出会い

私は陸上部です。陸上部は短距離と長距離で練習が分かれます。私は短い距離を走るより、長い距離を走る方が好きなので長距離に所属しました。そこで高津先生に出会いました。その先生は教師国大会で 1500m で 2 位に輝いたことがある、大先生でした。当時は走るのを楽しむ感じで毎日部活に行くのが楽しみで仕方ありませんでした。しかし、次第に練習がどんどんきつくなっていき本当に行くのが嫌になってしまいました。そんな時、市大会に出るという話がでてきました。今は大会に何度も出て入賞できるまでになりました。

今、私に後悔はありません。練習は相変わらずきついけれど、仲間がいるから頑張れます。そんな事はどの部活でもあること。でも、今を楽しめるのは自分。そう思って、日々楽しく過ごせるといいですね。

【1-G 宮野 葵】

個性がわかる HB（ホームベース）

打瀬中は様々な特徴がありますが、その 1 つが HB です。HB とは 1 人 1 つもてるロッカーのことです。打瀬中は毎時間教室が変わるので、教科書を入れるのに役立ちます。

しかし、HB はただのロッカーではありません。裏の顔をもっています。それは、どの様に使うかです。整理が得意な人は、百均でラック等を買ってきたりして工夫をします。しかし中には教科書も平積みにして、休み時間の度に雪崩が起きる人もいます。なのでできるだけ使いやすくなれる様に、皆頑張っています。

打瀬中には、まだまだ他の学校にはない面白い特徴がたくさんあります。一体、どの様な特徴なのだろう。そう思った人は、入学してみたら、ぜひ見つけてみてください。

きっと、より楽しい学校生活が送れると思います。

【1-C 一色舞優】

協力し合うコンクール

みなさんは音魂祭というものをしていますか。「これは打瀬中学校の合唱コンクールです。打瀬中の各クラスが朝と昼と放課後に練習をかさねて自分たちがきめた自由曲を一生懸命に歌います。

パートはおもに 4 つにわかれていて、ソプラノ、アルト、男声Ⅰ、男声Ⅱに分かれて練習します。

また、音魂祭では最優秀賞、優秀賞、優良賞の 3 つの評価があり、みなでそのどれかを勝ちとります。

音魂祭本番は県文化会館で行われます。約 2000 人の前でうたうのはかなり緊張します。

僕は度々練習を休んでしまったことがありましたが皆さんはこういことがないよう気を付けてください。

【1-H 岸根圭一郎】

陸上部からもらった「諦めない心」

私は陸上部に所属して、今本当によかったと思っています。私は 6 年生のとき、陸上大会で 100 メートルを練習していたのですが、最後のほうに自分はもう無理だ、と諦めてしまって、結局選手にはなれませんでした。そんな自分が恥ずかしくなり、中学校に入ったら運動部に所属してやると決めました。そんな時友達の勧めで陸上部の仮入部に行きました。そこで私は決めました。「入りたい」と。温かい笑顔で迎えてくれた先輩が、ダッシュになると本気の顔になり、それは一言でかっこいいそのものでした。陸上大会で諦めてしまったたんだ自分と、選手になれなかった悔しさをここで精神も心身も強く向上させたいと思い、入部を決めました。

今私は陸上部に入って「諦めない心」を大切に活動しています。これは勉強や生活面でも役立っています。辛いことも楽しいことも全て乗り越えていこうという気持ちをもらいました。

【1-G 納江彩名】

テストはつらいよ

小学校生活を楽しんでいるみなさん。みなさんは毎日復習していますか。僕達 1 年生は改めて復習することの大切さを実感しました。

そのきっかけとなったのは定期テストです。定期テストは、僕達にとって悪魔のような存在です。理由は僕達が定期テストによって自由な時間が奪われ、ストレスが溜まるからです。

僕はテストでいつも汗が止まりません。ですが、いつも学年の中でも上位の人はすらすら問題を解き、残り時間を全て見直ししています。見直しをする時間を作るには復習が大切だと先生に言われました。

僕はそれから毎日復習し、次のテストでは成果が大きく向上しました。これらのことは中学受験に向けて頑張っている小学 6 年生にも言えることだと思います。またテストが終わった後の感動はとてもすばらしく、「良かった」と思えます。みなさんもぜひ、復習をし、すばらしい喜びや感動を味わってみてはどうですか。

【1-E 篠村虎良】

ここでしか得られない達成感

打瀬中学校の吹奏楽部では代々 1 つの約束事があります。それは「先輩を敬うこと」です。これは私たち新入生の代が入ったときに教わったことです。最初は学校生活にも部活動にも慣れず、まわりに迷惑をかけてばかりでした。名前すら知らないメンバーと 2 年半部活をやっていくのかと、最初は不安でしかたありませんでした。年に 1 度のコンクール、合奏準備、イベントなどでの本番と、仕事は山海の毎日です。そんなある日、ある問題がおこりました。最初は少し意見のすれ違いからはじまったトラブルが、次第に部全体をまきこむ大きなトラブルとなってしまいました。今ではそんなことものりこえて打瀬中学校 1 仲の良い部活になれたと思います。

最初にも言った通り、私の部活では毎月のように仕事があります。心をこめて演奏した後のお客さんの拍手を聞くと、たくさん練習してよかった、という満足感とともに達成感も感じることができます。

【1-E ハレグザッド エリカ】